事例No.	2131
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	徳島県佐那河内村

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・人材確保・育成

事例種類	教育

事例内容・タイトル

小中一貫教育において行う計画的なプログラミング教育

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

151 小中一貫教育において行う計画的なプログラミング教育【徳島県佐那河内村】

事業の概要

○　佐那河内村は、平成30年度に「佐那河内小中学校」として小中一貫教育校を設置し、9年間の教育課程の編成、小中の教職員による合同研修などを実施している。

○　村では、そうした教育環境下で、義務教育課程において必修化されたプログラミング教育を行うため、小中9年間を見通したプログラミング教育の実践・情報活用能力年間計画を作成し、様々な分野にプログラミング教育を取り入れている。

（例）
- 各教科の学びにおける効果的なプログラミング教育
- 「ふるさと学習」にプログラミングを活用
- 一人一台端末を活用したプログラミング教育
- 中学校技術家庭科(技術分野)におけるプログラミング教育の実践　等



農薬散布するドローンの飛行経路をプログラミングして、動きを確かめる

【参考情報①】 人口：0.2万人
関連URL：　ー

【参考情報②】令和2年度第4次産業革命時代に活躍するためのプログラミング教育事業（徳島県教育委員会）とは
URL：https://www.tokushima-ec.ed.jp/joho/programing/page_20210629021237

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



令和２年度に、徳島県立総合教育センター教育情報課(現・GIGAスクール推進課)と連携し、各教科においてプログラミングを取り入れた授業方法の研究を行うとともに、小中学校９年間の系統的なプログラミング指導計画を作成しました。

（佐那河内村）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



徳島県教育委員会の「令和２年度第４次産業革命時代に活躍するためのプログラミング教育事業」を活用し、指導に用いる教材(ドローン、IoTブロック、小型ロボット作成セット)を整備しました。



事業の近況を教えてください。



令和２年度より、プログラミング教育を単独の学習に留めることなく、各教科指導内容との連携を図り、小中学校９年間の一貫した計画を立て、取り組んできました。プログラミング教育においては、まずは個人で課題に取り組み、次の段階としてグループで課題に取り組むことにより、意見を出し合い創意工夫をして積極的に課題解決を行うことができました。グループでの活動を通じて、筋道を立てて考える力や、コミュニケーション能力も向上しました。

★担当：佐那河内村教育委員会★

令和3年度事業費　2,700千円